

名古屋大学文学部・人文学研究科・文学研究科・国際言語文化研究科
2019年度 授業評価アンケートに基づく授業改善事例

- ・毎回授業後に「大福帳（コミュニケーションカード）」を書かせている。学生は、授業中に「質問があるか」と聞いてもほとんど答えないが、この大福帳にはさまざまな質問を書いてくる。共有したほうが良い質問は、翌回の授業で紹介して答えを考えさせたり講義したりしている。
- ・授業内容に特に改善すべき要望は出ていないため、現状維持にすることにした。
- ・授業中に配布しているパワーポイントのハンドアウト掲載の写真について、モノクロコピーでは画質が不鮮明との指摘をうけ、本年度は NUCT にカラー版の PDF をアップし、学生に閲覧させるようにした。
- ・内容が抽象的で難しいという声があったので、映像の資料などを用意して説明した。
- ・宗教関連の習慣が分かりにくいという声があったので、時代ごとにも違うことを考慮しつつ、できる限り具体例を出しながら、他の作品で描かれたエピソードなどと比較しつつ説明した。
- ・作品解釈について各自の見解を述べる機会を作るため、授業中にディスカッションの時間を設けた。
- ・各自の報告の前に、別途面談をして、配付資料や発表内容の構成について指導した。

以上